

んな風向きでもディスクが安定してま
つすぐ飛ぶように、人間も練習する必
要がある。息もピッタリにタイミング
を合わせるのが、上達の秘訣だ。

日本フリスビードッグ協会

☎〇二五―二三四―二一〇〇

HP <http://www.frisbeedog.co.jp/>

なお、その他のスポーツでは、テニ
スボールを取って戻ってくる四頭一チ
ームのリレーゲーム「フライボール」、
犬と人間と一緒にダンスをする「ケー
ニン・フリースタイル」などもある。

● 成果発表の場の訓練競技会

日頃のしつけの成果を披露し、審査
員が点数と順位をつけてくれる場が訓
練競技会。前出の(財)ジャパンケネルク
ラブが開催している「家庭犬訓練」競
技には、縄跳び、玉乗り、8の字股く
ぐり、輪飛び、腕飛びといった高度な
ものもあるが、いちばん易しい初等科
は「座れ」「待て」「こい」といった基
本的なしつけをきちんとやっていれば、
どんな犬でもチャレンジできる科目ば
かり。好き勝手にあちこち行かずに横
にピタッとついて歩けるか、その場か

ら離れても戻ってきて命令を受けるま
でじっとしていられるか――そんなこ
とを、紐つきで出場して審査される。

「ちゃんときかないとそういう場所
に出てはいけないんだと思ってる方
が多いのですが、競技会を見学してみ
ると、『これくらいだったらウチのコも
やれるかも』と思って出てみたくなる
ようです。シャイなコほど外ではおと
なしなので、いつもはできなかったこ
とができて、思いがけず上位に入るこ
ともあるんですよ。競技会に出場する
という目標があると、飼い主さんもそ
のために頑張って教えようとするし、
犬もその期待に応えようします。犬
にとつてはトレーニングの間、飼い主
さんを独り占めしてかまってもらえ、
うまくできると喜んでくれるのが嬉し
いでしょう」

臆病な犬が自信をつけて堂々として
きたり、運動不足や退屈、寂しさによ
るストレスが発散されて、吠える、嘔
むといった問題行動が改善されたり、
肥満ぎみの犬の絶好のダイエットにな
るなど、一石何鳥もの効果も。
なお、ワイワイ気軽に参加できる運



動会みたいなイベントもある。犬をお
座りさせ、立ち上がってしまったら犬
の所へ戻らなくてははいけないルールの
「イス取り」、鬼が振り向いたら犬とど
もに立ち止まらなくてははいけない。だ
るまさんが転んだ」など、ゲーム感覚
で楽しめる。参加費も一〇〇〇円程度。
「競技の途中で逃げ出してしまふコ
がいたり、落ち着きがないコがいたり
さまざまなので、全然気張らなくて大
丈夫。会場で犬仲間もできて楽しいと
思いますよ」

人や犬がたくさんいる競技会会場に
行ってもビクビクしないように、事前
に公園や街中に連れ出して、賑やかな
環境に慣れさせておくといい。あとは
できるだけ多くの大会に参加して経験
を積むことだ。

各団体が実施している競技会やイベ
ントの日程やレポートが満載の『ドッ
グスポーツジャーナル』(七五〇円)と
いう雑誌があり、同名のホームページ
もある。 <http://www.dogsports.co.jp/>

● 褒めるのが訓練のコツ

犬を訓練するにはコツがある。
あるときは「こい」、別のときは「お
いで」などと言いが違うと、犬は混
乱してしまうので、命令する言葉を統
一すること。英語は簡潔で犬が理解し
やすいので、「カム」「シット」といっ
てしつけている人も多い。

人間がリーダーだと教え、服従させ
ることが大事だが、叱ってばかりいて
はいじけて、やる気をなくしてしまう。
まして体罰を加えるなどもつての他だ。
「家庭犬は飼い主さんが喜んでるか
どうかに敏感なので、成功したら演技

過剰なくらい心の底から『すごいね!』
と犬を褒めて、ヨシヨシと思いい切り
撫でてあげます。そうすると犬は、わ
あ嬉しい! 頑張ろうと思つて、一生
懸命やり、どんどん上達します。反対
に、なかなかできなくて飼い主さんが
イライラして怒鳴ったりすると、犬も
緊張してますます動きが悪くなつてし
まう。しまいにはトレーニングが嫌い
になつてしまいます。ですから、練習
は楽しい雰囲気を進めること。五―一

〇分やつてもうまくいかないときは、
その練習をパッとやめて、気分転換に
ボール遊びをしたり、お座りなどその
犬が簡単にできることをさせ、褒めて
あげてから終わりにするといいです」
練習は犬が飽きてしまう前に短時間
で切り上げ、毎日続けるといい。硬い
アスファルトの道路や砂利が転がって
いる所で運動すると、脚や股関節に負
担をかけてしまうので、芝生のある広
い公園や河川敷を探してみよう。首都
圏には、「国営昭和記念公園」(東京都
立川市)、「アンデルセン公園」(千葉県
船橋市)などの公営ドッグランがある。
犬を放すことができない場所では、一

〇―二〇mのロンググリード(引き紐)
をつけて行う。

『訓練&アジリティー競技会に出場
したい人のためのドッグ・トレーニン
グBOOK』(誠文堂新光社)、『犬とい
つしよにフリスビーであそぼう!』(マ
リン企画)などの解説本も出版されて
いるが、最初はプロの訓練士にどんな
訓練をすればよいか教わるといい。「ま
つだドッグスクール」を主宰する松田
亜紀さんは、訓練士養成学校を卒業し
て、(財)ジャパンケネルクラブ公認訓練
士、(財)日本警察犬協会公認訓練士の資
格をもつ、優秀な訓練士さん。飼い主
宅や指定の場所に出張して、子犬のト
イレトレーニングから成犬のしつけ、
問題行動の矯正を行うほか、競技会に
出場する犬の訓練や、飼い主の代わり
に競技会に出場することもある。

ベーシックコースは一レッスン五〇
〇〇円(約一時間)。三頭以上で行うグ
ループレッスンは一頭につき三〇〇〇
円(一時間―一時間半)。しつけ教室も
定期的に開催。二五〇〇円。 http://www1.ocn.ne.jp/~mtd_dog/